

授業基本情報

授業科目名／Course Title	食農フィールド実践演習
代表教員名／Instructor	長尾 慶和 (農学部)
代表以外の教員名／Other Instructor	高橋行継、柏寄勝、池田裕樹
授業種別／Type of Class	演習
開講学期／Semester	2024年度／Academic Year 前期／First semester
開講曜日 時限／Class Period	食農総合コース：9月2日～9月6日、動物と生命の専科コース：9月2日～4日、植物と食の専科コース：9月4日～9月6日
単位数／Credits	食農総合コース：2単位相当、家畜と生命の専科コース：1単位相当、農作物と食の専科コース：1単位相当
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入可
連絡先／Contact	長尾 慶和(農学部附属農場 (0285-84-1321・ynagao@cc.utsunomiya-u.ac.jp))
オフィスアワー／Office Hours	長尾 慶和(毎週火曜日午前中 (できるだけ事前にメールで連絡を下さい))
対面・遠隔の別／Face-to-face/Online	対面授業

授業概要情報

A L 度／Active Learning	AL80
実務家による授業回数／Course Count	0回
実務経験の内容, 及び当該授業への実務経験の活かし方／Instructor's practical experience and how it is utilized for this course	民間企業での勤務や附属農場における獣医師としての経験を活かした実践的な内容について実習する

地域に関する実践科目 ／Practice Courses	◎
授業の内容／Course Description	附属農場における実習と関連する講義と事後ディスカッションを通じて、我々の生活を支える食・環境・生命について体験的に学ぶことを目的としたアクティブ・ラーニング科目である。
授業の到達目標／ Course Goals	附属農場の自然環境の中で、五感全ての感じる力を覚醒し、課題解決に向けて自ら考え、自発的に行動する力を養う。
学修・教育目標との関 連／Educational Goals	行動的知性を養うことを目指す大学の基盤教育の柱として位置付けられる。
前提とする知識／ Prerequisites	特になし
関連科目／Related Courses	特になし
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	1日目の午前にJR宇都宮駅をスクールバスで出発し、附属農場へ向かいます。午後から附属農場で様々な内容の講義・実習等を実施し、3日目または5日目の夕方にJR宇都宮駅に戻ります。予習は特に必要ありませんが、授業ごとに理解度を図るため質問等の時間をとります。AL度はAL80で、技法はフィールドワークとディスカッションとプレゼンテーションです。
教科書・参考書等／ Textbooks	授業ごとに必要であれば関連資料を配付します。
成績評価の方法／ Evaluation	実習への出席と取り組み状況を70%として、実習レポートの内容を30%、合計して評価する。
学習上の助言／ Learning Advice	全国共同利用拠点として活動してきた農学部附属農場を、カリキュラム連携をしていない大学の学生にも、附属農場で学ぶ門戸を開けることを目指して、令和4年度からスタートした新しい科目です。人数制限（20名）はありますが、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。
キーワード／Keywords	食、生命、環境、農業、動物、植物、流通、食育

/Time	授業計画/Class Schedule	授業時間外学修(予習および復習)/Preparation and Review
1	オリエンテーション	実習に向けた着替え等の準備や注意事項を確認する
2	酪農科学概論(講義)	家畜の命の位置づけ・役割とウシの一生について考える
3	ウシの飼養管理(給餌、スキンシップ他)	ウシの給餌について、学んだ知識や技術を復習する
5	泌乳と搾乳概論(講義)	乳製品の加工方法やその意義について復習する
6	ウシの搾乳と哺乳	ウシの搾乳方法について復習し、搾乳時のリスクについて調べる
7	ヒツジの飼養管理(毛刈り等)	ヒツジの毛刈りについて、学んだ知識や技術を復習する
8	ウシの繁殖学(人工授精他)	ウシの繁殖システムについて、学んだ知識や技術を復習する
9	乳製品加工	乳製品の加工法について復習する
10	生殖科学実験	生殖工学技術について学んだ知識や技術を復習する
11	園芸学概論(講義)	果樹栽培全体に関して復習する
12	果樹の収穫・調製	果実の品質に影響する要因について調べる
13	作業機械概論(講義)	作業機械全体に関して復習する
14	作業機械操作	作業機械の安全な操作方法について復習する
15	流通に関する講義と見学	生産物の流通に関して調べる
16	水稻栽培学概論(講義)	水稻栽培全体に関して復習する
17	水稻栽培管理	水稻栽培のノウハウや技術、品質に影響する要因について調べる

18	農から食へ講義と見学	農業から食への流れについて調べる
19	実習の振り返り	実習を通じて最も印象的だった内容について調べ、レポートを作成する
	準備学修等についての指示:担当教員から指示のあった課題のほか、毎回の授業毎に授業内容の復習や、次回の授業内容に関連するテーマに対する調査・考察を行うなどし、授業計画詳細情報の下段1に記載する時間分の自主的な学修を行うこと。	

※食農総合コース：1～19、動物と生命の専科コース：1～10・19、植物と食の専科コース：1・11～19